



【ここで遊ぼうっ！】

年中組での生活が始まり、1ヶ月が経とうとしています。新しい担任や保育室に緊張気味な子もいましたが、新しい遊具がうれしくて、目をきらきらさせて手に取って遊び始めたり、新しい担任や友達が気になって一緒に遊んだりして、少しずつ安心して過ごすようになってきました。登園してすぐに“ここで遊びたいな”と遊び始められるように、ままごとコーナーにごちそうや鍋、皿などを並べたり、ミニカーの道を設定したりしています。登園した子どもたちは「ここわたしのうち」「これやろうっ」とつぶやきながら家の中へ入って料理をしたり、目に付いたミニカーを動かしたりして遊び始めます。

ミニカーや動物のおもちゃなど、お気に入りの物が見付かってきた子どもたち。時には使いたいタイミングが友達と一緒にになり、「こっちがライオンさんのうちなの！」「この車がいい！」などと取り合いになることもあります。そんなときは、「AちゃんもBちゃんも使いたいんだよね。困ったね」「同じのがあるか先生探してみるよ！」と思いを受け止めたり気持ちが切り替わるような言葉を掛けたりしています。これからも“おもしろそう”“やってみたいな”と心を動かして遊び始めたり、お気に入りの遊びや遊具が見付かったりしていくように必要なものや場を用意したり、教師も一緒に楽しんだりしながら支えていきたいと思っています。

戸外ではこんなことを楽しんでいます！

戸外では、砂場で山を作ったりケーキを作って食べたりバギーカーに乗って運転したり追いかけてをしたりして楽しみ始めています。



待て待てー！！



トンネル誰とつながるかな？
崩れないように気を付けてー！！



【自分でできる！】

少しずつ温かくなってきたため、暑い日には「暑いからスモック脱ぐね」と言って、自分でスモックを脱いで過ごしています。「トンネル通って袖、直そう」「脱ぐ前に、ハンカチとティッシュはお引越ししようね」と教師が言葉を掛けたり、子どもたちと一緒にいたりしていると、「自分でできる！」「ちゃんとお引越したよ！」と自分でしてみようとしたり、自分でできたことをうれしく感じたりするようになってきました。また、弁当前におたより帳にシールを貼り始めました。シール帳を開けて、「今日はここだね」と指を差したり「昨日ここに貼ったからお隣だね」などうれしそうに教師に話したりしています。水筒でお茶を飲むときや帰りの身支度など、自分だけでは難しいときもありますが、「先生手伝って」と困ったことがあったときは教師を頼ろうとする姿も見られます。これからも自分でしてみようとする姿を認めたり、教師が手伝ったりしながら身の回りのことを“自分でしよう”という気持ちをもって行えるようにしていきます。